


January 10, 1983

54: the title of device [STRUCTURE OF SIDE RAIL OF UNDERCARRIAGE]

57: [CLAIMS]

A structure of side rail of undercarriage, comprising:

cross member transversely disposed between side rails of undercarriage having -shaped cross section with rivet; and

main bolster being disposed upper side surface of the side rail,

wherein the upper side surface of the side rail, which is connected to the main bolster, is recessed partially, and

ends of the cross member being coupled with the rivet in the recessed part of the upper side surface of the side rail, and thus the rivet avoids interference in the main bolster.

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—3375

⑮ Int. Cl.³
B 62 D 21/02

識別記号

庁内整理番号
8108—3D

⑯ 公開 昭和58年(1983)1月10日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 車台のサイドレール構造

自動車工業株式会社東京自動車
製作所川崎工場内

⑰ 実 願 昭56—97338

⑰ 出 願 人 三菱自動車工業株式会社

⑱ 出 願 昭56(1981)6月30日

東京都港区芝5丁目33番8号

⑲ 考 案 者 飯合辰夫

⑲ 代 理 人 弁理士 廣波精彩 外1名

川崎市中原区大倉町10番地三菱

⑯ 実用新案登録請求の範囲

断面コ字形状の車台サイドレール間にリベットを介してクロスメンバを横設すると共に、同サイドレール上側面に縦根太を載置したものであるにおいて、上記縦根太に接する上記サイドレール上側面を部分的に陥没させ、同陥没部において上記クロスメンバ端部をリベット結合することにより同リベットが上記縦根太に干渉しないように構成したこと

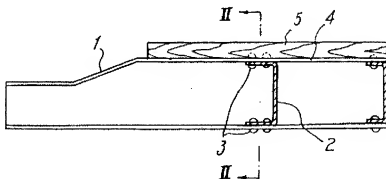
を特徴とする車台のサイドレール構造。

図面の簡単な説明

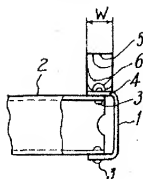
第1図は従来装置における側面図、第2図は第1図のII—II線における矢視断面図、第3図は本考案の実施例における要部拡大側面図、第4図は第3図のIV—IV線における矢視断面図である。

1;サイドレール、2;クロスメンバ、3;リベット、7;陥没部、5;縦根太。

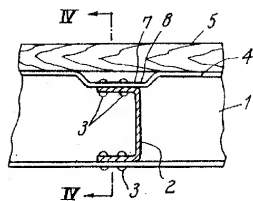
第 1 図



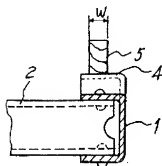
第2図



第3図



第4図





(4700円)

実用新案登録願(9)枚記号なし

昭和56年6月30日



特許庁長官殿

考案の名称 シャダイ コウゾウ
車台のサイドルール構造

考案者

住所(居所)

氏名

カワサキシナカハラクオオクラサの
神奈川県川崎市中原区大宮町10番地
三菱自動車工業株式会社東京自動車製作所川崎工場内
イ飯 アイ タツ オ
飯 合 辰 夫

実用新案登録出願人

住所 東京都港区芝五丁目33番8号
名称 (628) 三菱自動車工業株式会社
代表者 東 条 輝 雄

代理人

住所 東京都港区芝五丁目33番8号
三菱自動車工業株式会社内(電 455-1011)
氏名 (6528) 弁護士 廣 渡 裕 (特許庁長官)

添付書類の目録

- (1) 明細書 1通
- (2) 図面 1通
- (3) 委任状 1通
- (4) 願書副本 1通



836

方式
審査



実開58-3375

56 097338

前記以外の考案者，実用新案登録出願人または代理人

考 案 者

住 所

氏 名

代 理 人

住 所 東京都港区芝五丁目 3 3 番 8 号

三菱自動車工業株式会社内 (電 455-1011)

氏 名 (6627) 弁理士 日 吉 吉





明 細 書

1. 考案の名称

車台のサイドレール構造

2. 実用新案登録請求の範囲

断面コ字形状の車台サイドレール間にリベットを介してクロスメンバを横設すると共に、同サイドレール上側面に縦根太を載置したものにおいて、上記縦根太に接する上記サイドレール上側面を部分的に陥没させ、同陥没部において上記クロスメンバ端部をリベット結合することにより同リベットが上記縦根太に干渉しないように構成したことを特徴とする車台のサイドレール構造

3. 考案の詳細な説明

本考案は車台のサイドレール構造に関するものである。

従来第1、2図に示す如く、トラクタの車台サイドレール1間にクロスメンバ2がリベット3結合される。そして上記レール1は断面コ字形状をなし、その上側面4には縦根太5（以下根太という）

(1)



が載置され図示されない荷箱が設けられるようになつてゐる。そして、上側面 4 の巾には重量軽量化による一定の制限があるため、リベット 3 に対峙する根太 5 にはリベット 3 が干渉しないようにする逃げ穴 6 を形成していた。ところが、根太 5 に逃げ穴 6 を形成するためそれだけ根太の巾が大きくなつてしまい、その結果車重が増大することになり、コストを高める不具合があつた。

本考案は上記鑑みて工夫されたものであり、第 3、4 図に示す実施例にもとづいて説明すると、7 はサイドレール 1 上側面 2 に陥没させて平坦面 8 を形成した陥没部であり、クロスメンバ 2 端部をサイドレール 1 に結合する場合、陥没部 7 の平坦面 8 とサイドレール 1 の下側面 9 との間にクロスメンバ 2 を挟んでリベット 3 結合する。

本実施例は上記したように、サイドレール 1 の上側面 4 の一部に陥没部 7 を形成しているため、リベット 3 が根太 5 下面に干渉することがない。そのため、上記従来のように、リベット用の逃げ穴

6 を根太 5^K 形成する必要はなく、その結果根太 5 の巾 X を従来に比べて小さくすることができるので根太 5 の重量を小さくでき、ひいては車重の軽減およびコストの低減を図れる効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は従来装置における側面図、第 2 図は第 1 図の II - II 線における矢視断面図、第 3 図は本考案の実施例における要部拡大側面図、第 4 図は第 3 図の IV - IV 線における矢視断面図である。

- 1 ; サイドレール、 2 ; クロスメンバ、
3 ; リベット、 7 ; 陥没部、
5 ; 縦根太

代理人 広波禧輔

